
善意の躍動

UGoui

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

善意の躍動

【Nコード】

N2904B

【作者名】

UGou i

【あらすじ】

私は、ごく自然なように或る場所へ向かった。そこには善意の躍動が有るといふ。そこで、私は人生観を変える形容詞が見あたらないような体験をする。

全員がそろって、心が躍動し続けていると言わんばかりの目付きをしている。壇上の恰幅の良い、何とも権威ありげな男が「お年寄りに席を譲りましょう」と繰返す度に、涙まで流して人々の瞳孔は可能な限り拡大し続ける。

一度、そのスローガンを叫ぶ度に繰返される、聞いているだけでも手が痛くなりそうなほどの拍手。人々は世界の真理を前に、正しい決意を繰返す。声だけはバラバラの高さだが、それでいてテンポだけは完全なまでにそろった声を張り上げる。「私たちは老人に席を譲りません、譲りません、譲りません」

割れんばかりの拍手、一分、二分、人々は無限に続くかのような拍手を行ない続ける。男が再びスローガンを叫ぶ。人々が繰返す。叫ぶ、繰返す、叫ぶ、繰返す。そして、拍手。

男の次に壇上上がった女。ヒステリックなまでに何かにとらわれたようなその顔、そしてぎらぎら光るその目は、まさにこれから殉教せんとするかのような雰囲気を持つ。そして、叫ぶ。「素晴らしいスライドを見ましょう」

「スライドを見ましょう、見ましょう、見ましょう……」一体『何度見ましょう』と繰返しただろうか、一同の前に巨大な、赤色のスクリーンが、虹色の幕が開くと同時に出現する。拍手、拍手、拍手、一分、二分、限りなく開いた彼らの瞳孔に、光と崇高な精神を流し込み始める。

若い男と女が三人ずつ、スクリーンに映し出された。彼らは皆、

ほとんど空席に近い電車で一列に椅子に座っている。

視点が切り替わる、電車に幾千、幾万の人々が同時に吸い込まれていく。その人々は何秒も、何十秒も延々と電車の中に吸い込まれ続けていく。それが、一分、二分、三分、そして、人々の無限にも思える波は、突如として途絶える。扉が閉まる。

人々はあまりに壮大なスケールの叙述詩を前に、呆然と画面に食い入り、そして次の結末が果てしなく予想不可能であるように、瞳の輝きを増す。

そして、再び視点が切り替わる。さっきの六人の男女の周りは、突如として現れたスクリーンを埋め尽くすような老人たちで囲まれている。

そして、感動のラストシーンが始まると、一様に人々は同じようにして口を開け、息を可能なまでに飲み込み続けながら、その若者たちと画面いっぱい広がる老人たちを、凝視する。

若者たちは、全員で、何の迷いもためらいも無く、寸分違わぬ調子で、自らの意志で、素早く一斉に立ち上がる。スクリーンに食いつ入る膨大な人々が息を飲み込みながら、同時に立ち上がる！

一斉に同じ声調で『どうぞ』、と彼らは言ったのだ！ 人々の目から染み出る大粒の涙が頬をつたう。拍手が始まる、一分、二分、三分、延々と音階が躍動する効果音が繰り返し流れ続ける。

視点が切り替わる、ナイアガラの滝だ！ ナイアガラの滝が映し出される。数秒の間隔で視点が変わり続ける、エジプトのピラミッド、アフリカの野生動物たち、海を泳ぐ鯨の群れ、南極のペンギ

ン。そして、目に最大限の光を注ぎ込む物体が、スクリーン中央に現れる。「地球だ」

その地球のシーンと、ビッグバンと磁場のゆがみのシーンが折り重なって同時に映し出される。いつの間にか人々の拍手は消えて無くなっており、立ちつくしたままスクリーンの行方に全ての神経を注ぎ込む。

そして、再び電車に視点が戻る、いつの間にかスクリーンを埋め尽くすほどの老人たちは、今はスクリーンを埋めつくほどの若者たちに入れ替わり、椅子に一列に並んだ老人たちが、にこやかに全く同じ笑みをたたえていた。

拍手が始まる、一分、二分、人々の目から大粒の涙とすすり泣く声が発せられ、全てのこの場に属する人々の共通感情に昇華される。疑う物など、誰もいない。全ての人間が笑みをたたえながら、互いが認め会える素直な世界がここにある。

「老人に、席を、譲りましょう」「譲りましょう、譲りましょう、譲りましょう、譲りましょう、譲りましょう、譲りましょう、譲りましょう、譲りましょう、譲りましょう、譲りましょ…」

(後書き)

独特のムードを持つシーンを描きたいので一度書いてみました。

タイプミス修正： 地場・<磁場 の誤りでした、修正いたしました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2904b/>

善意の躍動

2010年12月19日02時27分発行